

深谷市の将来を見据えて



新深谷市が誕生して、2年が経とうとしております。私はこの2年間「新市建設計画」に基づき、「笑顔にあふれ活力を創出する しあわせ市民都市」を目指してまちづくりを進めてまいりました。

新市建設計画は、新市におけるまちづくりのマスタープランとしての役割を果たすものですが、その策定に当たっては、1市3町の総合振興計画を踏まえたものとなっており、基本的には、旧市町のまちづくりを踏襲・継続しながら、将来に向かって飛躍するための基礎づくりとなるものです。

この間、合併した効果を最大限に生かすべく職員数の削減や行財政改革を進めてまいりました。その経費節減の結果生み出された予算で、耐力度調査や耐震診断の結果を踏まえた、校舎の改修補強工事や小学校体育館の新築、そのほか生活に必要な道路網の整備などを行ってまいりました。しかし、市民の皆様の中には「新たなまちづくりの展開」や「市民サービスの飛躍的な向上」などについてまだまだご不満をお持ちのかたもいらっしゃるかと存じます。それは新深谷市として最初の2年間は、「人の和」による「旧市町の融合」を政策の基本とし、大きな変革を生み出す助走期間と位置付けたからです。この期間を人間に例えるなら、頭や背骨ができ、心臓が動き始めた時期とお考えください。

現在、新市の市政運営の根幹であり、総合的な指針となる総合振興計画の策定作業を進めています。私は今年刊行した市勢要覧のごあいさつの中で、「莞爾たる微笑み」がまちづくりには必要だと書きました。本市にあふれる「笑顔の源」をどのように生かしていくかを、総合振興計画に織り込み、ただ今開会中でありまして12月議会に上程しております。

平成20年度から、「市民の笑顔があふれるまち」・「深谷らしいまち」を目指した新たなまちづくりが始まります。本年3月に策定した「行財政改革大綱」と「行財政改革推進計画」に基づき、健全な行財政運営を維持しつつ、現在の深谷市の発展はもちろん、20年先、30年先の深谷市の将来を見据え、次代における本市の発展も念頭に、新たなまちづくりを進めてまいります。

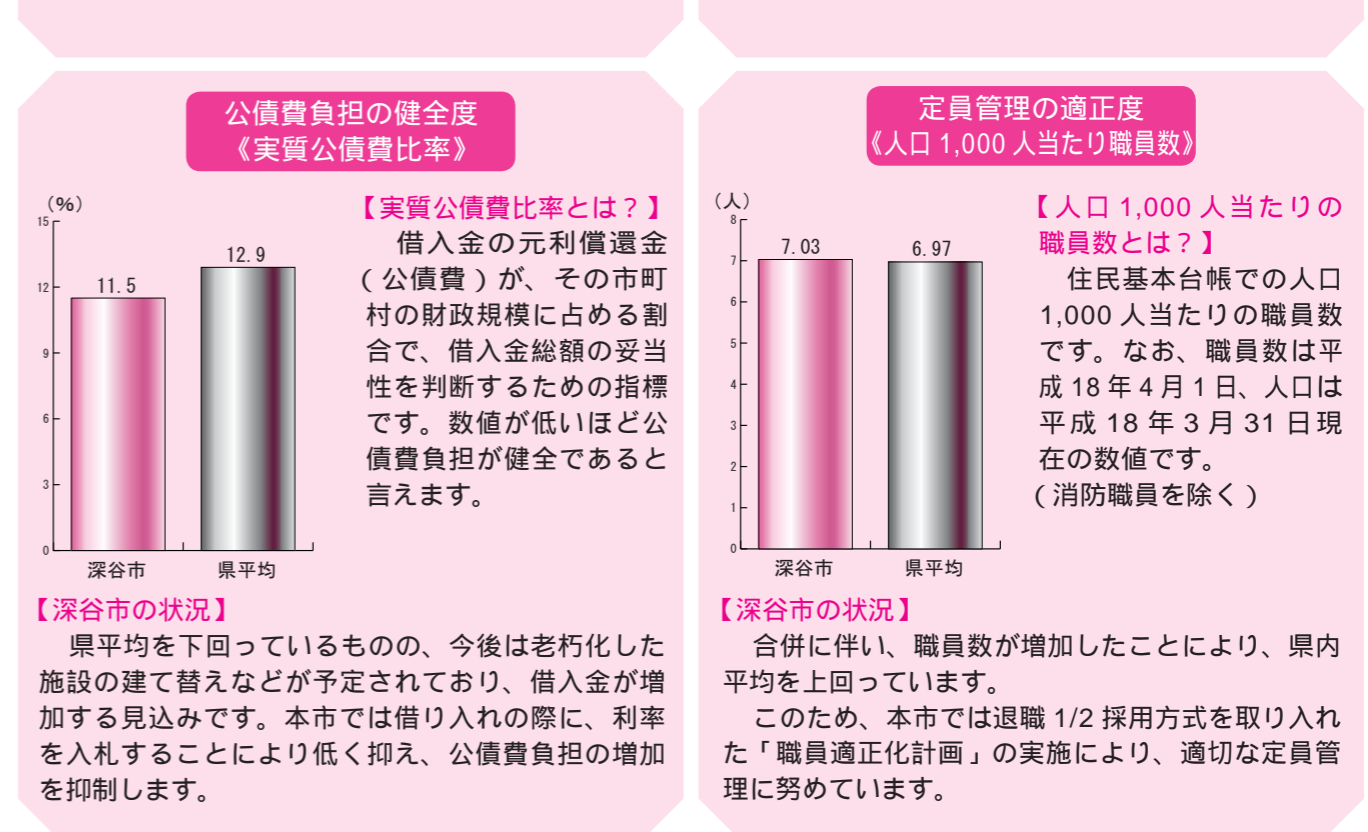
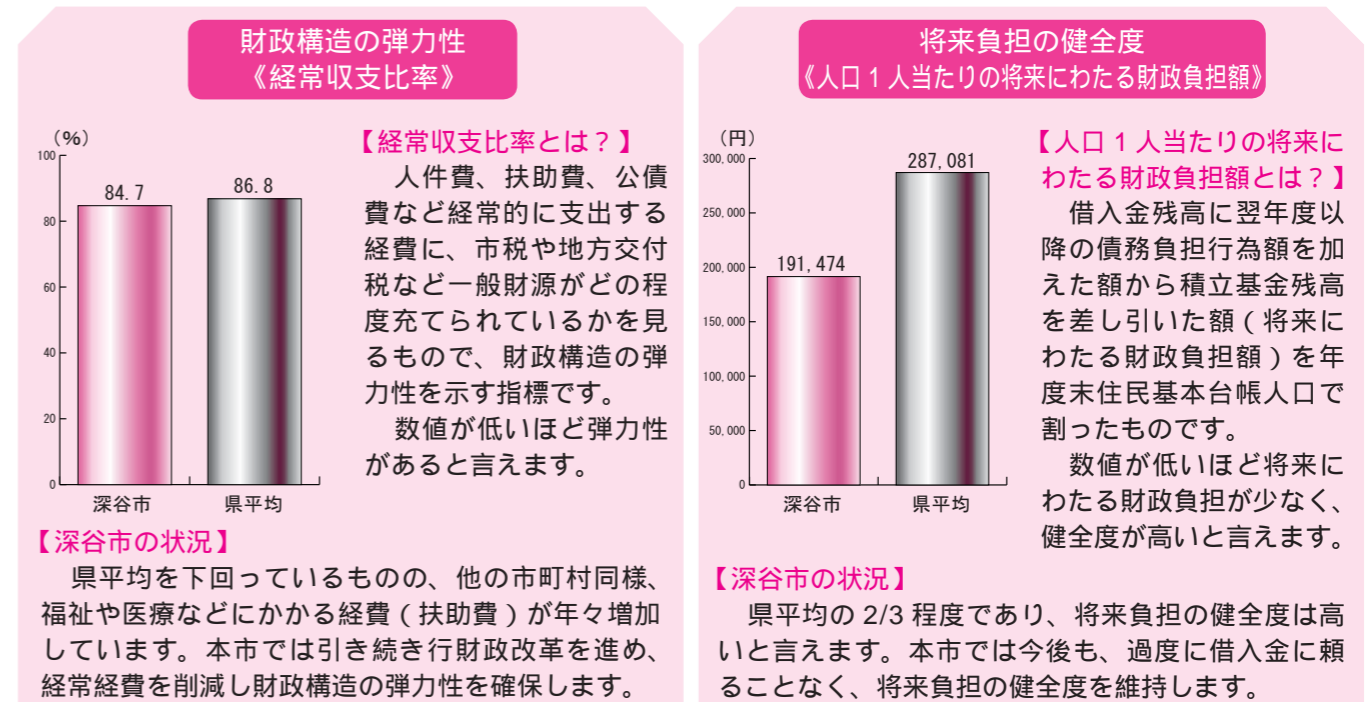
本立ちて道生ず 「論語」

データで見る深谷市

11月号では「国と地方の長期債務残高」と「合併前の各市町の財政状況」についてご紹介しました。

今月号では「財政構造の弾力性」、「将来負担の健全度」、「公債費負担の健全度」、「定員管理の適正度」の4項目について、深谷市の状況を数値化し、県内の市町村平均と比較してご紹介いたします。

なお、グラフ中の数字については埼玉県による「平成18年度埼玉県市町村普通会計決算概要」に基づいています。



深谷市の融資制度一覧

融資制度名	融資限度額	融資利率	融資期間	信用保証料
小口資金	1,250万円	1.95%	運転資金 6年 設備資金 8年	0.45 ~ 1.59%
特別小口資金	1,250万円	1.95%	運転資金 6年 設備資金 8年	0.80%
中小企業近代化経営資金	2,000万円	1.80%	運転資金 10年 設備資金 12年	0.45 ~ 1.59%
中小企業緊急運転資金	300万円	1.625%	運転資金 1年	0.45 ~ 1.59%

各制度とも埼玉県信用保証協会の保証を付すことが条件となります。

【問い合わせ】
商工振興課
57416650

資金繰りのお手伝い！
中小企業向け融資制度

合併1年 深谷市の取り組み

対象となる事業者は？

この制度をご利用いただけるのは、市内に事業所を有し、1年以上市内に居住し（法人の場合には本社）、同一の事業を営んでいるかたで、市税の滞納が無いかたです。さらに法人で、市県民税の法人割が出ている場合は保証人無しでお申し込みいただけます。

対象となる資金の使い道は？

経営の合理化や安定化を図るための運転資金や、設備の近代化を図るための設備資金にご利用いただけます。

市では、市内の中小企業者の皆さんの資金調達を支援するため、さまざまな融資制度を実施しています。